



たくましい村松っ子

10月の生活目標：はさみ歩き名人になろう

令和7年10月22日 第10号

文責：校長 日高 文博

共感力

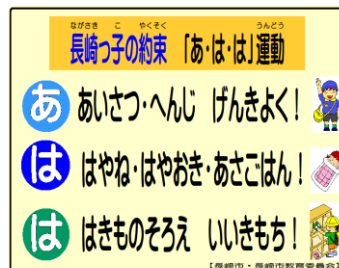
人類学・霊長類学者の山極壽一氏は、「ゴリラの研究から見える人間の本质とは？」の問いかけに次のように答えています。

「ゴリラは目の前で起こっていることにしか事実はありません。だから、群れから離れてしまった個体は存在していないことと同じになります。つまり、ゴリラには、一緒にいることが仲間

関係を持続するために必要なのです。一方で、人間は一緒にいなくても仲間関係を維持することができます。共同体から離れて散らばったり、時を経て集まったりすることが普通にできるわけです。そして、いないときも、その仲間のことを考えています。それが人間の社会力であり、ゴリラとの大きな違いです。人間が何年も会わなくても友達であり続けられるのは、不在の間を想像する共感力をもっているからです。それが人間の強さであると思います。」

今は、世界のリーダーでさえ、自国ファーストを他国に押し付け、自己の利益に終始している風潮が感じられます。こんな時代だからこそ、今、目の前に存在しない人に対しても想像力を働かせ、共感できる力が人間としての強みであることを確認したいと強く思います。

学校においても、集団の中でうまく生活できず、苦しんでいる仲間にとっと寄り添い、声をかけている子どもに出会うことがあります。私よりも素晴らしい共感力を身に付け、相手の状態を想像できる力に「かなわない」と思わされています。何より憧れるのは、そうした子どもが人としてとても心豊かであるように見えることです。年齢は関係ありません。



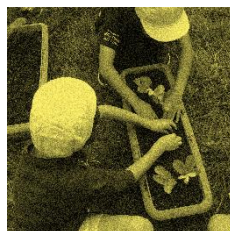
朝のあいさつ運動

朝の活動では、5・6年生の生活委員会のみなさんが玄関横であいさつ運動に取り組んでいます。9月の生活目標「あいさつ名人になろう」に向け、みんながあいさつを合せて、朝から気持ちの良い村松小学校を創ろうと毎日頑張ってくれました。今後も、時々玄関横で全校に呼び掛けしてくれるということです。気持ちの良いあいさつが飛び交う村松小になることを願っています。



いちごの苗植え

9月29（月）に3年生がいちごの苗植え体験をしました。琴海のいちご農園から2名の方にお越しいただき、植え方のコツや今後の水やりの仕方などをたくさん教わり、楽しい活動ができました。いちごができるのは、12月頃だということです。楽しみにしている子どもたちは、毎日水やりを頑張っています。



小体会出場選手を励ます会・小体会

10月1日（木）に小体会出場選手を励ます会がありました。5年生をリーダーとして応援団をつくり、全校で小体会に出場する6年生へ向けエールを送りました。6年生も力強く抱負を述べ、温かい雰囲気にも包まれた会となりました。ターゲットボッチャ・球入れ・プレルボール・フラッグフットボール・フットホッケーの5種目でそれぞれ練習に取り組み、10月15日の小体会本番では、どの種目も全力で練習の成果を発揮することができました。



トヨタまるわかり教室

5年生社会科の自動車の学習の一環で、10月10日（金）に「トヨタまるわかり教室」が実施されました。9名のトヨタの方が訪問され、子どもたちに環境に配慮した車の生産などSDGsに関わる内容で学習を進めていただきました。シュミレーション等をしながら、楽しく学ぶことができていました。



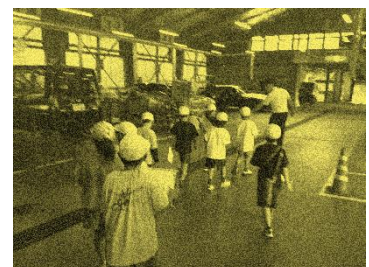
アスリート派遣事業

県の事業として、日本トップクラスで活躍をしたアスリート人材・パラアスリート人材等が学校を訪問し、体育授業を行うものです。10月6日（月）に元プロバスケットボール選手の中川和之さんをお招きし、6年生の子どもたちに向けて、スポーツのすばらしさや楽しさ、将来の夢へ向けての体験談などの講話のあと、運動の多様な楽しみ方を6-2の子どもたちにバスケットボールの実技を通じて指導していただきました。みんな笑顔で楽しめていました。



2年生まちたんけん

10月16日（木）に2年生が生活科の学習で町たんけんに出かけました。学校に近いお店や駐在所、郵便局など3クラスで9か所の店や施設を訪れ、使う人のために工夫していることやいいところなどを見つけました。グループで協力して、学びの多い楽しい学習となりました。



※画像は個人が特定されないように処理しています。